

和の風 町長随想 増澤善和

「道の日」に思う

八月十日は「道の日」。大正九年八月十日に「日本第一次道路改良計画」が発表されたのを記念したものである。みちは日本古来の大和言葉で「みち」は美しい、ちが道。多くの人々が歩いて踏み固められ、きれいなみちができたからだろう。みちに当てはめた外来漢字をあげてみると

道：人が通る一般的な道。
 道徳的な人の道の意も。
 路：太い縦道を横につなぐ道。
 径：近道・さしたりの道。
 隧：墳墓地下道・トンネル。
 未知：道路財源は予想不可能。

「道の日」に因んで、当町が中心となって整備中の道・路・径・隧の進捗状況をまとめてみたい。

①国道三〇五号（ホノケ道）
 今から十五年前、平成五年四月に、越前海岸を走る三〇五号の終点桜橋から、更に東に延長して河内〜奥野々〜今庄インターチェンジに接

として、促進期成同盟会の活動が必要であろう。

②南条SASマートIC
 用地交渉中の未知なる道。

道路名	距離 (km)	事業費 (億円)			完成予定年度		
		総事業費	～19年度	20年度		21年度～	
国道305号	7.16	106.2	25.4	10.7	70.1	平成26年度	
奥野々～河内	6.4	90.9	16.7	7.2	67.0	平成26年度	
河内～赤萩	0.7	14.0	8.0	3.2	2.8	平成21年度	
糠（災害）	0.1	1.3	0.7	0.3	0.3	平成21年度	
国道8号（国直轄）トンネル・橋など	1.3	国直轄事業であり促進期成同盟会もなく不明			4.7	不明	平成21年12月
国道365号	2.3	5.1	2.2	1.3	1.6	—	
湯尾（歩道）	0.9	2.9	1.4	0.7	0.8	平成21年度	
孫谷（〃）	0.9	0.4	0.2	0.1	0.1	平成21年度	
孫谷（改良）	0.5	1.8	0.6	0.5	0.7	未知	
県道中小屋・武生線	4.4	34.5	18.0	5.5	11.0	平成22年度	
向新保～下平吹	1.7	19.2	6.0	5.5	7.7	平成22年度	
下平吹～上平吹	2.7	15.3	12.0	—	3.3	平成22年度	
県道南条・池田線	3.7	0.4	0.1	0.1	0.2	未知	
森林基幹道越前南部線（春日野～山中峠）	17.5	54.6	40.2	1.8	12.6	平成25年度	
森林基幹道今庄池田線（杣木俣～魚見）	6.8 (南2.6+池4.2)	17.8	2.7	1.0	14.1	平成24年度	



▲中小屋・武生線、松ヶ鼻トンネル 下平吹坑口
 ▼現在の国道8号と国道305号交差点付近 (平成21年度中に完成予定)



のである。「この道を十年以上も前に国道に昇格したのは国主動だったのです。その理由は、私達の地域は関西・中京経済圏と北陸経済圏を結ぶ重要道路、即ち北陸高速道・国道八号・国道三六五号の三本が、南北に平行に通っている交通要所です。また、日本有数の豪雪地帯でもあり、五六豪雪時はこちらも、普通の年でも一夜のドカ雪の度に、これらの道が大渋滞または交通止になることがあり、日本の経済流通に大きな悪影響を与えていた。この時のドライバーの苦しみはもちろん、この人達に食料や水を徒歩で配布する役場職員、通勤・通学・通院・買物の足を奪われる沿線住民の苦労は甚大であった。これらの道路の雪害を少しでも緩和するためには、この逃げ道のない三本の主要道を横に連絡する道が必要として、国がこの道を国道に昇格したものです。」と。この十年以上前の話は国側は全く忘れていたのである。従ってこの道は、町村合併とは関係なく三主要道を横に結ぶショートバイパス（短絡迂回路）―即ち「路」として国主動で計画されたのである。この道も、今年十億四千万円の予算がつき、奥野々坑口から掘削工事が開始され八号線との交差点付近は赤萩橋（仮称）も含めて来年度完成、全体完成は二十六年度の予定。しかし、道路財源が「未知」であるため、更なる陳情が必要であろう。また、あつてはならないが活断層帯に建つ原発の事故時の避難経路としても、この長い隧道が必要だと思われる。

②国道八号（国直轄の防災）
 桜団地から桜橋付近は魔のカーブともいわれた事故多発地だった。新しい「桜トンネル」や「河野川橋」の名前も決まり、来年十二月に開通。

③国道三六五号
 湯尾・孫谷の歩道は来年度完成予定。孫谷〜板取間の屈曲緩和と孫谷川護岸工事が同時に行われ、一年に少しずつ工事が進むので完成は未知。

④県道「中小屋・武生線」
 この道も計画されてから十年以上経過した道。この道は国道三六五号の王子保〜松森の混雑を解消するためのバイパスとして計画されたもの。

⑤県道「南条・池田線」
 促進期成同盟会があるのに、なかなか進まない未知の道。

⑥森林基幹道「越前南部線」
 山中峠から春日野までの山の尾根近くを南北に約十八kmもある林道。海や山の景色も良く、舗装されるので観光道としての期待も大きい。また、ホノケ山登山の中継地点となる菅谷峠広場には、「あずまや風休憩所」を来年建設を目指して強く要望している。

⑦森林基幹道「今庄池田線」
 杣木俣〜魚見間の七kmの林道。平成二十四年度完成予定。

⑧国道四七六号
 敦賀から宅良地区を通過して大野までの道だが、現在杣木俣と池田町東俣区間が不通。ホノケ道の次に力を入れる道